



酒匂の清流

令和3年9月15日(水)発行

校長 津田 将美

遊びから生まれる学び

1年生の生活科に「つちやみずであそぼう」という学習があります。学校だより第6号で紹介した「雨とあそぼう」でもそうでしたが、生活科の「あそび」の中には「遊びや遊びに使うものを工夫すること」や「遊びや自然のおもしろさや不思議さに気づくこと」、「仲間と楽しみながら遊びを創り出すこと」などのねらいがあります。

松田幼稚園では、「遊び=学び」ととらえ、「遊び」から「学び」を得る活動に特に力を入れてくださっていて（さくら保育園をはじめとする他の保育園も同様だと思います）、友達と協力し、試し、失敗し、考え直しながら自由に遊んでいるうちに、生きていくために必要なさまざまな力を心と体で吸収しながら成長してきました。

小学校では、幼児教育の中で培われたこの遊びから学びを生み出す姿勢を大切に引き継ぎ、更に育てる学習を続けています。

今回もこの「つちやみずであそぼう」の授業に参加させてもらいました。遊ぶ道具は水鉄砲です。子どもたちは自分たちで用意した思い思いの水鉄砲をうれしそうに抱え、濡れてもいい服装になって中庭に出てきました。

ねらいについて担任と確認をし、いよいよ水鉄砲遊びです。子どもたちは、最初はこうしたら遠くまで飛ばせるのか、どうしたらねらい通りに飛ばせるのかを考えながら活動していました。「友達の首から上はかけない」というルールもしっかりと守りながらも、本当に楽しんでいる様子が伝わってきました。

「校長先生は、顔かけてもいいの？」
というかわいい問いに、ちょうど坊主頭で暑さも感じていたので、つい担任の許可も得ずに、

「校長先生は友達と違うからいいよ。」
と言ってしまったら、大変なことになりました…。

すると一人の子が、私の長靴（靴下の替えがなかったので履いていました）に注目しました。

「校長先生、長靴の中に水がたまっているよ。」
「うわあっ、本当だ！」
「ジャンプしてみて！！」

私がジャンプをすると、水が長靴の隙間から勢いよくジャブジャブと飛び出ます。

「うわあ、おもしろい！！みんなでもっと入れよう！！！」

ここから、子どもたちの工夫と協力が始まりました。何度かジャンプさせられた後、長靴を脱いでほしいという要望に應えると子どもたちは、

「これなら、もっと入るよ。」
「たくさんためよう。もっともってきて！！」

みるみる長靴いっぱいになった水を見て大喜び。今度は、長靴の履き口にある紐を結んで、水ボンベのように持ち上げました。



そして紐をゆるめながら長靴を逆さにして、今までにない勢いの水が長靴から地面へと落下していきました。

「すご〜い!!!」

そこで満足したのでしょう。今度は水鉄砲で地面に絵を描いたり、ものを飛ばしたりする活動に移っていきました。子どもたちのたくましい姿を眺めながら、私は前述の

「遊びや遊びに使うものを工夫すること」

「遊びや自然のおもしろさや不思議さに気づくこと」

「仲間と楽しみながら遊びを創り出すこと」

のねらいが達成されたことを感じました。

遊びから新たな楽しみ方を考え、活動が発展するような学びを今後も目指していきます。

びっしょりになった靴下は、校長室の窓の外に干しておきましたが、十分に乾きませんでした。まだしめっている靴下を履きながら帰路につきましたが、靴の中の湿り気は、子どもたちと共に活動を楽しんだ達成感と水を浴びた心地よい疲労感が忘れさせてくれました。



コロナ禍の学び

先週、今週と各学年でオンライン会議ソフトの体験を行っています。今後、万が一休校措置が取られた場合等でも、昨年度の臨時休校中にいった教材のWeb配信等に加えて、双方向のやり取りも選択肢のひとつに加えることができます。もちろん学年の実態に沿って柔軟に進めていきますが、子どもたちには比較的好評のようです。

低学年の児童も、一人一台のタブレットを持って、ドリル学習などに意欲的に取り組んでいますので、オンライン会議ソフト等も慣れれば使いこなせるのではないかと考えています。



場所を分散させてのオンライン授業

例年行っている5年生の工場見学は、日産車体のオンライン見学という形で行いました。このような手立てを取りながら、少しでも子どもたちの豊かな学びにつなげていきます。



日産車体、オンラインでの工場見学

手づくりの修学旅行へ

6年生の日光修学旅行が中止となりました。子どもたちには直接伝えに行きましたが、一人ひとりのつらい想いに耐え、しっかりと私の目を見て話を聞いてくれました。

5年生から6年生にかけて大きく成長してきたこと、自分たちで考え工夫・協力しながら何かを創り出す力があること、手づくりの修学旅行にすることは大きなチャンスでもあること、旧校舎の最後の卒業生であること、新校舎の最初の卒業生であること、新体育館で卒業式を行う最初の卒業生であること、自分と仲間を大切に最高の思い出を作ってほしいことなどを伝えました。

背筋をしっかりと伸ばし、真剣な目でこちらの呼びかけにはっきりと返事をしてくれました。涙を耐え、前を向こうという勇気を見せてくれました。すばらしい子どもたちに感謝です。

これから子どもたちが最高の思い出に向かって力強く進んでいけるように、担任と共に精一杯支援していきたいと思います。

今後、家庭にてタブレット等を活用した学習を行う場合には、夏休み前に必要な家庭から申し込みをいただいたポケットWi-Fiの貸与を行うことができます。町には必要台数は報告し準備をさせていただいておりますので、ご承知おきください。

ICT機器は、使用することそのものが目的ではありませんが、子どもたちの豊かな学びのためにどのように活用していけるのかを今後も検討を続けていきます。